

妊婦健診・乳幼児健診
データ利活用事業について

1 妊婦健診・乳幼児健診データ利活用事業の目的

- 沖縄県と県内市町村が実施する共同事業で、県内市町村の妊婦健診と乳幼児健診データ等を連結することによって得られた情報を活用し、低体重児出生の要因分析、未受診妊婦の状況の分析、乳幼児への影響等の分析を行い、分析結果に基づいた妊産婦保健指導や乳幼児保健指導に活用できる保健指導案を作成し、市町村における妊産婦・乳幼児支援の体制整備を図る。
- 各市町村の妊婦健診や乳幼児健診の効果や課題の分析を行い、市町村の母子保健計画策定の際、活用可能な資料として提供していく。保健所においては、管内市町村のデータ利活用により、地域の母子保健の課題分析を行い、管内市町村の母子保健施策の推進を図る。

2 妊婦健診・乳幼児健診データ利活用事業の実施期間と取組内容

第1期（平成26年4月～平成29年3月）

- ①低体重児出生の要因分析を行い、「37週未満の出生」、「妊娠後期の高血圧」、「BMI18.5未満」、「身長150cm」、「妊娠中の喫煙」との関連を明らかにした。
- ②分析結果に基づき、保健指導等により改善する可能性のある「妊娠中の喫煙」、「BMI18.5未満」について、喫煙妊婦・やせ妊婦支援の保健指導教材を作成し、モデル事業（ちゅらママ・赤ちゃんすくすくプロジェクト）を実施した。
- ③乳幼児貧血の健診事後対応方法の充実方策検討のための調査を実施、乳児後期・1歳6か月時の貧血（ヘモグロビン値）と3歳児健診時点での発達等については関連を示唆する結果は認められなかった。

第2期（平成29年4月～令和2年3月）

- ①平成27～28年度モデル事業の評価を実施。平成28年度モデル事業の分析では、ちゅらママ参加者と非参加者では再喫煙率に優位な差があることが明らかとなった。また、喫煙本数についても介入群の方がよりしている傾向が見られた。喫煙妊婦・やせ妊婦への保健指導の定着に向けた取り組みは、県全体の課題である低出生体重児の対策として今後も継続して行う。（別紙1）
- ②母親の感じる「育てにくさ」、「※虐待していると思う」をアウトカムとして、「子の要因」、「親の要因」、「親子関係の要因」、「環境の要因」の4つの要因について、乳幼児健診問診項目との関連性を分析した（H28年度の乳幼児健診データを活用）。また、育てにくさを感じる親を早期に支援する体制の検討として、乳幼児健診における保健指導のプロセスについて検討した。（別紙2）

※必須問診項目の「この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか」の回答で①しつけのし過ぎがあった～⑦子どもを激しく揺さぶった、の1つ以上に該当ありと回答したものを「虐待していると思う」として分析を行った。

③これまでの蓄積したデータについて、市町村や保健所にて利活用できるよう健やか親子21の項目に沿って集計した（データについては各保健所にて保管）。また、今後の妊婦健診・乳幼児健診データの利活用体制について検討した。

3 次年度の予定

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により事業報告会等の中止や市町村の妊婦健診・乳幼児健診データの提供依頼・集約も大幅に遅れてしまいましたが、次年度について、下記のとおり予定しています。

(1) 妊婦健診・乳幼児健診データ利活用事業に関する研修会等の開催

※具体的な日時、場所が決まりましたら改めてご連絡します。

(2) データの提供依頼・集約等について（別紙3）

5月 市町村へ母子手帳交付時データ（※）、妊婦健診、乳幼児健診データの提供依頼

※母子手帳交付時データについては様式変更（項目の追加あり：別紙3）。

6～8月 地域保健課でデータを集約

9～11月 データの集計・加工

12月頃 加工データを各保健所へ送付、保健所・市町村にてデータの活用

(3) 低出生体重児出生への対策

低出生体重児対策の具体的なツールとして、ちゅらママ・赤ちゃんすくすくを推進

妊婦健診・乳幼児健診等データ利活用による 妊産婦・乳幼児支援体制整備推進事業実施要綱

1. 目的

この事業は、沖縄県と県内市町村が実施する共同事業で、県内市町村の妊婦健診と乳幼児健診データ等を収集・蓄積・利活用する仕組みを構築することにより、低体重児出生の更なる要因分析や乳幼児への影響等の分析を行い、分析結果に基づいた妊産婦保健指導や乳幼児保健指導に活用できる教材を活用した保健指導の定着支援や評価を行い、市町村における妊産婦・乳幼児支援の体制整備を図る。

また、各市町村の妊婦健診や乳幼児健診の効果や課題の分析を行い、市町村の母子保健計画策定の際、活用可能な資料として提供していく。

保健所においては、管内市町村のデータ利活用により、地域の母子保健の課題分析を行い、管内市町村の母子保健施策の推進を図る。

2. 事業実施期間

平成29年4月～平成32年3月（3年間）

3. 事業内容

(1) 妊婦健診・乳幼児健診等データ利活用環境整備及び連結・分析（1～3年目）

※別添の「沖縄県妊婦健診・乳幼児健診等データ利活用に関する実施要領」に基づいて実施する。

※分析に使用するデータは氏名、住所、電話番号の個人を識別できる情報を省いた「個別データ」を個人ごとに連結したものをを用いる。

- ①市町村、沖縄県国民健康保険団体連合会、公益社団法人沖縄県小児保健協会からのデータ収集作業
- ②妊婦健診・乳幼児健診等データ連結及び分析（県全体・保健所管内・各市町村毎）

(2) 妊婦健診・乳幼児健診等データ利活用による妊産婦・乳幼児支援体制整備推進事業 検討委員会の開催（1～3年目）

- ①検討委員会では専門的な視点から、下記②～⑦に関する検討や評価を行い、県や市町村などへの提言を行う。
- ②市町村での事業展開、保健所支援体制等に関する検討
- ③母子健康手帳交付時の問診票等の標準化・問診情報の活用に関する検討
- ④乳幼児健康診査の精度管理のあり方の検討
- ⑤産後直後の支援等（エンジンバラ産後うつ病問診票活用、ハイリスク妊産婦支援連絡票等）の検討及び母子保健活動の評価
- ⑥データ分析結果から必要に応じて、「健やか親子おきなわ21」及び市町村母子保健計画の指標への活用や、市町村、保健所、関係機関、県民等へ分析結果を公表する。
- ⑦本事業の評価検討

(3) 保健指導教材等を活用した妊産婦・乳幼児への保健指導の定着・評価

- ①保健所ごとに、市町村・産科医療機関での保健指導の実施
- ②保健所で、管内市町村の連結データ利活用により、課題等の分析

4. 事務局

沖縄県地域保健課 母子保健班

ちゅらまま(妊婦禁煙支援)の効果 (28年度モデルの結果より)

〈ちゅらままプロジェクトの概要〉

- 対象期間：平成28年度
- 実施市町村：市町村20市町村

〈ちゅらままプロジェクトの効果〉

- 「ちゅらまま」への参加の有無と喫煙本数の変化の割合との間には優位な関係を認めなかったが、「ちゅらまま」参加者では喫煙本数を減らしている者がやや多い傾向がみられた。
- 「ちゅらまま」への参加の有無と乳児前期健診時の再喫煙者の割合には、優位な差が認められた。

ちゅらまま日記(妊婦禁煙支援)及び保健指導教材



「ちゅらまま日記」(表) 2つ折りでA6サイズ



「ちゅらまま日記」(裏)



再喫煙した場合のリーフレット



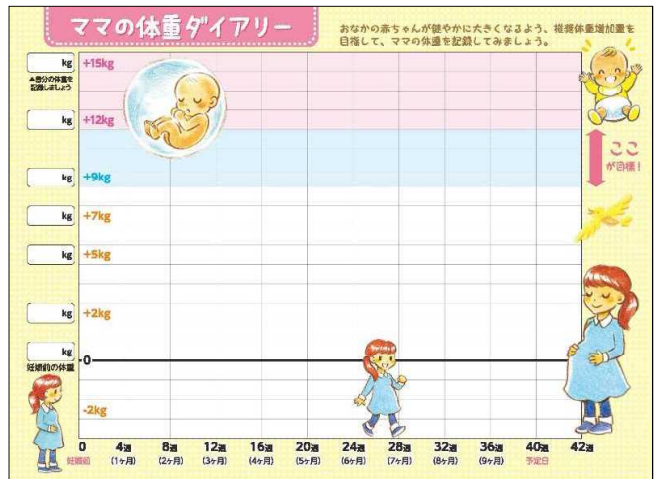
パートナー向けリーフレット



赤ちゃんすくすくカード(やせ妊婦支援)及び保健指導教材



赤ちゃんすくすくカード (表)
2つ折りでA6サイズ



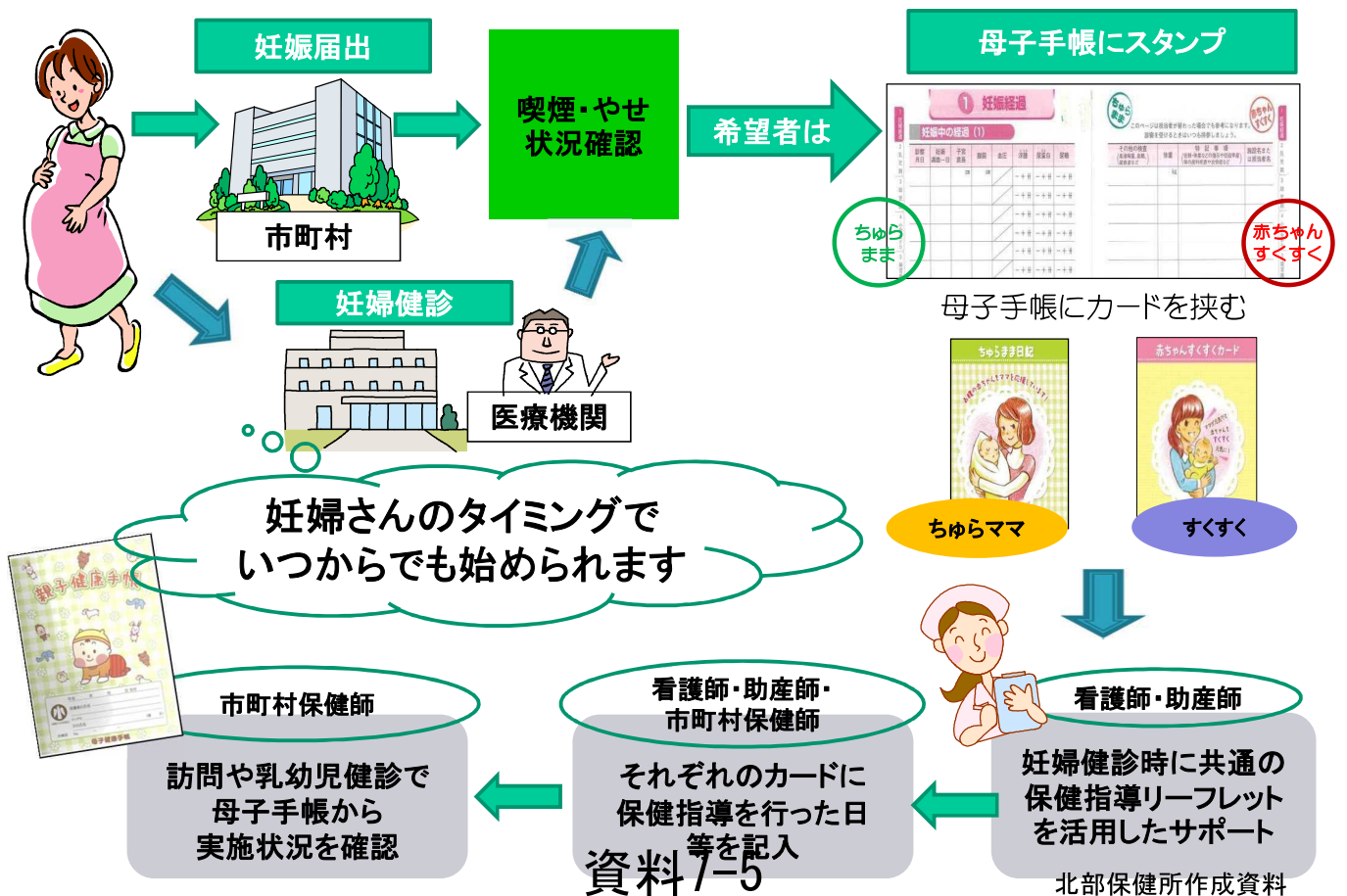
赤ちゃんすくすくカード (裏)



やせ妊婦用リーフレット



「ちゅらママ」・「赤ちゃんすくすく」を活用した保健指導のイメージ



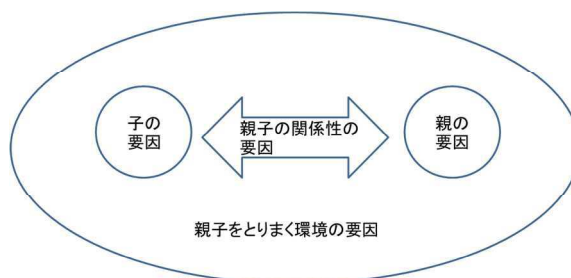
妊婦健診・乳幼児健診データ利活用事業 第2期（平成29年度～令和元年度）のまとめ

- 健やか親子おきなわ 21（第2次）において「子育てに喜びを感じる親が増える」、「育てにくさを感じる親を早期に支援する体制の充実」を重点課題の一つとして掲げている。
- 育てにくさを感じる親を早期に支援する体制について検討を行うため、ワーキンググループにおいて平成28年度乳幼児健診のデータを用いた要因分析を行った。
- その結果に基づき乳幼児健診におけるスクリーニング及び保健指導のあり方について議論した。
- 子育て支援に重点を置いた事業展開が求められるなか、今後の市町村母子保健活動の一助となれば幸いである。

平成27年9月11日付雇児母発0911第1号厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知『乳幼児に対する健康診査について』の一部改正にて、「子育て支援の必要性の判定」について明記された。また、現在、県内で使用している乳幼児健診問診票においても医師総合判定、保健師相談に「子育て」の項目が設定されている。

「育てにくさ」とは

- ・さまざまな研究から、子育て支援とは親の育児不安を軽減することにあるとされ、育児不安と称されるものには、育児への心配にとどまらない育児の負担感（育児ストレス）が関与していることが分かっている。
- ・また、育児ストレスに関連する要因として、親としての役割の不全感が育児ストレスとなり、育児困難感を生じさせていることも分かっている。
- ・「育児不安」や「育児困難感」の背景は、下記のような多面的な要因が関係している。
 - （1）子どもの要因（成長、発達、障害など）
 - （2）親の要因（病気、パーソナリティ、考え方、育成歴など）
 - （3）親子の関係による要因（愛着、家族の関係、経済的問題、親の孤立など）
 - （4）親子をとりまく環境の要因（どういう地域か、親を支える仕組みがあるかなど）



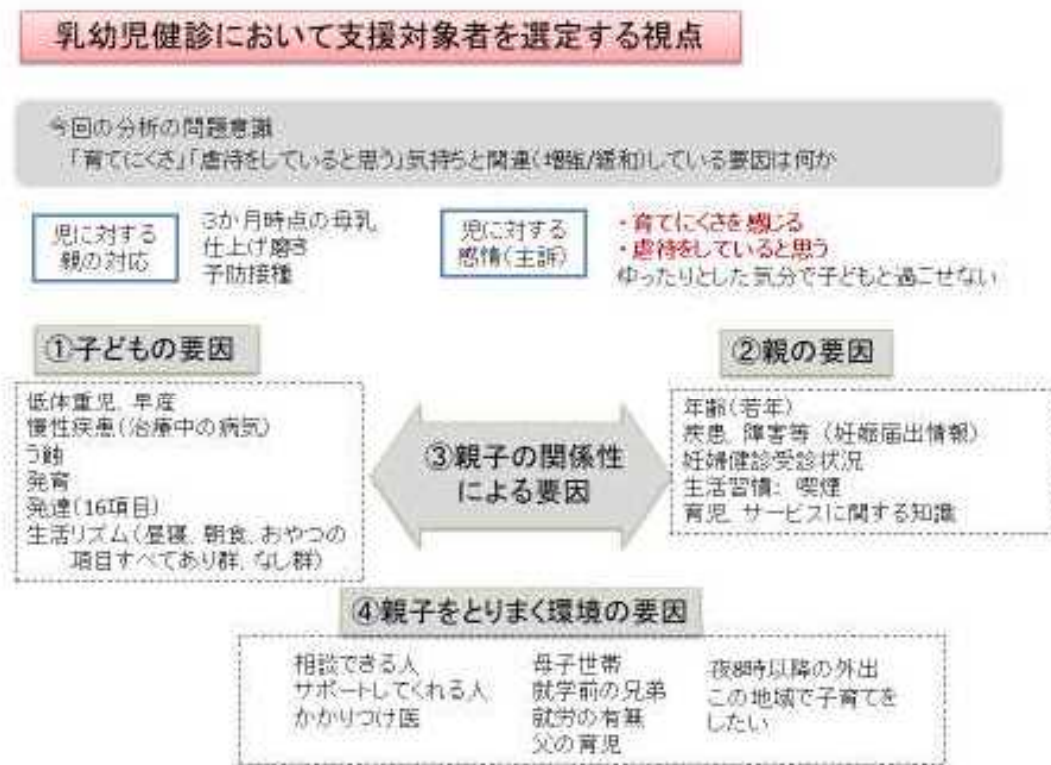
出展：秋山千枝子，小枝達也，橋本創一，堀口寿広：「育てにくさ」の理解と支援—健やか親子21（第2次）の重点課題に向けて—；2-5，2017（株）診断と治療社

県内の現状

- 平成 28 年度の乳幼児健診において、育てにくさを「いつも感じる」、「時々感じる」と回答した親の割合は、乳児健診前期では 11.4%、1 歳 6 か月健診では 21.3%、3 歳児健診では 30.8%となっている。また子どもを虐待していると思われる親の割合は、乳児健診前期 7.1%、1 歳 6 ヶ月健診 19.7%、3 歳児健診 39.3%と子の年齢とともに増加している。

要因分析

- 今回の分析の問題意識としては、「育てにくさ」、「虐待をしていると思う」気持ちと関連（増強/緩和）する乳幼児健診問診票の項目との比較により、育てにくさ等に関連している要因、支援対象者を選定する視点を検討することである。



平成28年度 乳幼児健診(乳児前期・後期、1歳6か月児、3歳児)問診項目を用いた「育てにくさ」と「虐待していると思う」気持ちに関連する要因(星取り表)

※「育てにくさ」を感じる、「虐待していると思う」気持ちに対して、増強に関連する要因(●)、緩和に関連する要因(○)

要因	項目	乳児前期		乳児後期		1歳6ヶ月		3歳	
		育てにくさを感じる	虐待していると思う気持ち	育てにくさを感じる	虐待していると思う気持ち	育てにくさを感じる	虐待していると思う気持ち	育てにくさを感じる	虐待していると思う気持ち
子	発育太りすぎ	●							
子	発育太り気味					○			
子	発育やせぎみ								
子	発達首座りない								
子	発達寝返りがいい	●							
子	発達人見知りがない	○		○					
子	発達あやしても笑わない			●					
子	発達ハイハイがない			○					
子	発達おててパチパチがない			●					
子	発達について心配なことがある	●	●	●	●				
子	発達に課題がある					●	●	●	●
子	慢性疾患がある	●		●		●		●	●
子	仕上げ磨きをしていない					●			
子	う蝕あり						○		
子	保育所に通園していない			●	●	○		○	○
子	子防接種なし	○	○						
子	生活リズム(午睡・朝食・おやつ)1つ以上不規則					●	●		●
子	食事が自立していない							●	●
子	排泄(排尿、排便)が自立していない							●	
子	排尿のみ自立している							●	●
子	排便のみ自立している							●	
親	母が20歳以下								
親	母が20～24歳			○		○		○	
親	母が25～29歳			○				○	
親	母が35～39歳	●				●	●		
親	母が40歳以上	●				●			
親	父が40歳以上		●			○			
親	母オフィスワーク	●				●			●
親	母パート・アルバイト					●		●	
親	母無職・主婦					●	●	●	●
親	母就労・未回答					●			
親	妊娠中の母親の喫煙あり	●							
親	妊娠中の母親の飲酒あり		●		●				
親	母親が喫煙している								●
親	その他の同居家族の喫煙あり	●			○				
親子	家族大人4人以上								
親子	病気療養中の家族あり	●		●	●	●		●	●
親子	未就学のきょうだいがいる		●		●		●	●	●
親子	きょうだいがいる(多い)	○	○	○	○	○	○	○	○
親子	妊娠中に何らかの異常を指摘された		●	●	●				
環境	相談できる人がいない	●	●	●	●	●	●		
環境	サポートしてくれる人がいない	●	●	●	●			●	●
環境	支援サービスの知識がない	●							
環境	20時以降の外出が時々ある	●	●	●	●				
環境	20時以降の外出がよくある	●	●						
環境	父親の育児参加時々	●	●	●		●	●	●	●
環境	父親の育児参加ほとんどしない	●	●	●		●	●	●	●
環境	父親の育児参加何とも言えない	●							
環境	ゆったりとした気持ちない	●	●	●	●	●	●	●	●
環境	# 何とも言えない	●	●	●	●	●	●	●	●
環境	# 該当しない					●			
環境	かかりつけ医について何とも言えない	●							●
環境	かかりつけ医なし						●		●
環境	この地域で子育てしたいと思わない			●	●	●	●		
環境	# どちらかというと思わない		●	●	●	●	●		●
環境	# どちらかというと思う	●	●	●	●	●	●	●	●
環境	産後1ヶ月までのケアを受けたと感じる		○						

分析結果（星取り表のコメント）

- ゆったりとした気持ちがあるかについて「ない」及び「何とも言えない」と回答した群は全てのステージ（乳健前期、1歳6か月、3歳）で「育てにくさ」、「虐待かも」と関連している。医師や保健師の視点とも共通しているし、オッズ比も高いのでこれは見落としてはいけない項目である。

- 以下については、医師、保健師の視点との関連はないが、「育てにくさ」、「虐待かも」という問診項目と関連があるので、今後注意を払っていく必要がある。
 - 発達について心配なことがある（乳健前期・後期）及び発達について課題がある（1歳6か月、3歳）も関連があることがわかった。
 - 妊娠中の飲酒、喫煙、20時以降の外出は乳児期には関連があるので注意が必要である。
 - 病気療養中の家族ありはすべてのステージで「育てにくさ」に関連している。
 - 父親の育児参加がほとんどない、時々も全てのステージで「育てにくさ」に関連している。
 - 慢性疾患があるとの回答は全てのステージで「育てにくさ」に関連している。
 - 排泄及び食事が自立していないことは3歳児の「育てにくさ」に関連している。
 - 生活リズム（午睡、朝食、おやつ）のうち1つ以上不規則な児は1歳6か月の両項目及び3歳の「虐待してるかも」と関連している。

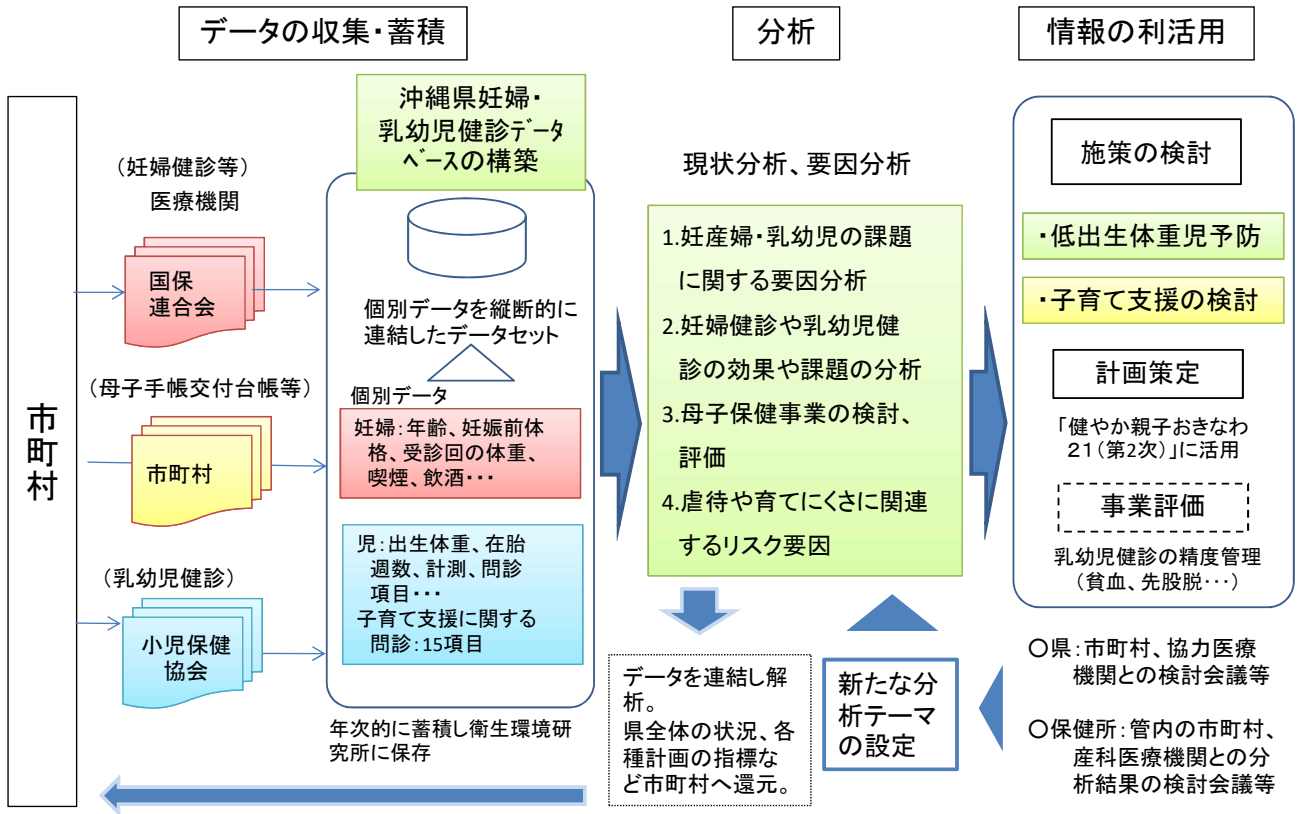
健診におけるチェックリスト（子育て支援関連）

準備段階	<input type="checkbox"/> 要観察者リストに含まれている児はいないか <input type="checkbox"/> 前健診からの申し送りに含まれている児はいないか <input type="checkbox"/> 他機関から紹介されている児は含まれていないか
会場での様子	<input type="checkbox"/> 危険行動を注意しない親はいないか <input type="checkbox"/> 子が泣いてもあやさない親はいないか <input type="checkbox"/> 表情が固い親はいないか <input type="checkbox"/> スマホばかりいじる親はいないか <input type="checkbox"/> タバコのおいがする親はいないか <input type="checkbox"/> 落ち着きのない子はいないか <input type="checkbox"/> 衣服の乱れた子はいないか
問診の場面で	<input type="checkbox"/> 感情的な行動はないか <input type="checkbox"/> 無表情ではないか <input type="checkbox"/> 保健師に向き合っていない感じはしないか <input type="checkbox"/> 会話が拒否的ではないか <input type="checkbox"/> 母子健康手帳が全然活用されていないことはないか <input type="checkbox"/> 会話で何度も同じことを繰り返していないか <input type="checkbox"/> 母親ではなく同伴者ばかりが答えていないか <input type="checkbox"/> 子どもに極端に指示的な態度はないか <input type="checkbox"/> 子どもに無関心な態度はないか <input type="checkbox"/> 話しているときに目線が合わないことはないか
関連問診項目 (1歳6か月)	<input type="checkbox"/> 発達に課題があり <input type="checkbox"/> 病気療養中の家族あり <input type="checkbox"/> ゆったりとした気持ちにない、または何とも言えない <input type="checkbox"/> 慢性疾患がある <input type="checkbox"/> 父親の育児参加がほとんどない、または何とも言えない <input type="checkbox"/> 生活リズムが1つ以上不規則

保健指導におけるチェックリスト（子育て支援関連）

健診内容	<p>【前回の健診結果から】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 主訴<input type="checkbox"/> 指導内容<input type="checkbox"/> 家庭環境や保育状況で今回と違いはないか<input type="checkbox"/> 育児不安や負担感はないか<input type="checkbox"/> 発育発達に問題はなかったか <p>【今回の問診の再確認】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 主訴<input type="checkbox"/> 医師の総合判定<input type="checkbox"/> 問診時の保健師判定<input type="checkbox"/> 課題の結果と保護者の困り感や生活習慣などの関係性 <p>【確認】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> むし歯の数（口腔環境）<input type="checkbox"/> 発達課題の状況 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 要観察リスト対象者か確認 <p>【子どもについて】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 身体測定の結果<input type="checkbox"/> 課題（絵カード、積み木、言葉）の実施状況<input type="checkbox"/> 親子教室や療育の利用の有無<input type="checkbox"/> 問診内容と生活上の困り事のすりあわせ<input type="checkbox"/> 結果説明を待っている間の様子で気になる点はないか
保護者から発信がある場合	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 主訴<input type="checkbox"/> 子育てが楽しいか<input type="checkbox"/> 子育てが不安ではないか、つらいか<input type="checkbox"/> 育てにくさを感じているか
保護者から発信のない場合	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 発達項目で気になる箇所を具体的に聞き出す<input type="checkbox"/> 保育所での様子を聞く<input type="checkbox"/> 保護者の困り感の確認、困っているが否定的や認めない
その他	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 傾聴と記録<input type="checkbox"/> 発達の様子や見通しを伝える

妊婦健診・乳幼児健診データ活用進捗と母子保健情報の活用体制



引用文献:「厚生労働科学研究費補助金(健やか次世代育成総合研究事業) 総合研究報告書」を改変

データの収集から活用までのスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市町村			県へ母子手帳交付台帳データ提供						データ活用可能	事業評価、計画策定等に活用		
保健所		市町村の意見集約	データ集約・分析の依頼						会議・研修でデータ活用可能	市町村支援、事業評価に活用		
衛生環境研究所				データ集計・分析の調整		データのクリーニング	データ集計・分析	データ加工終了・本庁へ提供				
県(地域保健課)		・市町村へデータ提供の依頼	市町村のデータ収集	・小保等へデータの依頼	小保、国保連のデータ収集	衛研へデータ送付			各保健所へデータ送付	事業評価、計画策定等に活用		
			データ収集									

